

◆今月の特集◆

『おしゃれハンコ』

当社では透明な印材のハンコも取り扱っております！白黒写真ですみませせん！左図のボディに彫刻の入ったものは売れスジです！お問い合わせは弊社店頭、担当営業までどうぞ！！



クリアデザイン



クリアカラー

STAMPS
(ボディ-全体に模様入り)

～とくまめ百科事典～



【初音ミク】

実際には存在しないアイドルの一人。歌を歌うソフトウエア。札幌の某ソフトウエア会社の開発による。ただし、音声の元になる部分(音の波形?)は完全な合成ではなく、実在の声優のものとの事。その昔、カラオケやデジタル機器の発達のおかげで、多くのミュージシャンは“お払い箱”の憂き目にあったという話でしたが、ひょっとしてこれは「歌手」も不用の時代が到来！の予感？
全編CGの映画。全部「初音ミク」みたいのが歌う歌番。そのうち人間はやる事がなくなる…？
どうやら人間はそれを視聴する方に回るしかないようです。

3月号

2012年2月



発行
(株)トクイ印屋

春に向けて準備を

少しずつ暖かさが

最近、ポータブルでDVDを再生できる装置を手に入れてみました。たしかに画面は小さくて、イマイチ迫力に欠けるかも知れませんが、なかなかどうして。映画によっては音声か、ちゃんと「サラウンド」で聞こえてきます。画面が小さいのはどこ吹く風。つつい、つつい、すっかり入り込んで観てしまおうでした。
気が付いたのは、多くの場合『特典映像』が付いていて、コレがなかなか面白いのです。
とあるCGアニメの作業場での映

像では、スタッフが制作メンバー全員の前で自作のスジをプレゼンするシーンがありました。擬態音などを織り交ぜ、場面の展開を説明しながら登場人物のセリフを説明していくのですが、これが役者顔負けのパフォーマンスで、メンバーは大爆笑！やはり、作り手が楽しんで作っている映画は面白いものだなあ、と思ったのでした。
今回の特集は「おしゃれハンコ」です。今月もお付き合いの程！

今月のつぶやき

今回は「初音ミク」と映画の話をしようと思います。何かで「映画は未来を描けない」というような言葉を目にしました。どんなに想像力をふくらませても、現存するものから大きくかけ離れたものを具現化するのには、どうしてもムリが生じるといつくかもしれません。

先日「ALWAYS 三丁目の夕日」という映画をじっくり見てみました。この映画は、最新の技術を使って「未来」ではなく「過去」を再現した映画だそう。そこに出てくる「モノ」をよく見ると、電話、クルマ、電化製品、東京タワー…。形こそ違え、今現在、私たちの周りに有るモノと、大きくは違わないような気がいたします。確かに今のものは随分とデジタル制御のモノが増えたと、この機能は格段にアップしているのかもしれませんが、こと「人の営み」に対しての関わり方は、そう大きく変わっているようには思えないのです。

ところで、今、私が書いているこの紙面。今では当たり前の「パソコンソフト」で書いてます。文字を直すのも、行や段落を変えるのもキーで一発！でも、コレを書いている今は、やっぱり夜中なのでした。

確か、未来では面倒な仕事は「小型コンピュータ」でサッサと終えて豊かなアフター5を過ごしているハズでは…(K)

E-mail : tokui@co-labo.net
F A X : 011-611-7172

今日はこんな日でした…

- 1951年3月20日 = 日本コロムビアよりLPレコード発売。それまでのSPレコードより6~8倍の長さ(Long Playing)。当時で1枚、2,300円。(昭和26年)
- 1965年(昭和40年)3月 = アートネイチャー創業。男性かつらの先駆
- 1981年3月31日 = ビンクレディー解散コンサート。やはり後楽園球場だった。約3万人の聴衆。(昭和56年)
- 1994年3月13日 = イギリスのサンデー・テレグラフ紙が、有名な「ネッシー」の写真(1934年)は、玩具を使ったトリック写真だったと報道。(平成6年)

●大安日 2/2、8、14、20、25
3/2、8、14、20、24、30